



ジェフユナイテッド千葉

みんなの想いを載せて迎えたホーム開幕戦 1/2

多くの人の想いを寄せることになったスタンド清掃のおかげで、試合も後半に追いつきドローゲーム。コロナ禍の観戦マナー遵守を呼び掛けるために、ファン・サポーターと実施したいと考えていたフクダ電子アリーナのスタンド清掃。明治安田生命千葉南支社君津営業部の方々32人がボランティアでご協力ください、蘇我スポーツ公園の指定管理者とジェフスタッフと三者共同でホームゲーム開幕戦の前日に実施。サポーターからは、感謝とコロナ禍での観戦マナー遵守の声がたくさん寄せられた。



活動場所 フクダ電子アリーナ



協働者

企業



協働者の声

明治安田生命保険相互会社 千葉南支社 君津営業部／緒志 真巳 氏
(指定管理者SSP UNITED場長)

ジェフサポーターの一員としてコロナ禍でも私達に出来る事を相談させて頂き、座席清掃をする事となりました。約5時間、30人のメンバーでひたすら椅子を拭き、翌日には筋肉痛と戦ったものの、ジェフスタッフの粋な計らいで電光掲示板への「ありがとう」の文字が私達の胸に刻まれ、忘れられない思い出になりました。



活動詳細情報

1

[公式Twitter](#)

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ





ジェフユナイテッド千葉

みんなの想いを載せて迎えたホーム開幕戦 2/2

Story

コロナ感染対策として2020年よりかなり回数とコストをかけており、指定管理者の負荷ともなっていたフクダ電子アリーナのスタンド清掃。一方コロナ禍の観戦マナー遵守の啓発活動をどうしていくかを考えていた、そんな折に、明治安田生命君津営業部(以下君津営業部)の方々から、「ジェフと一緒に何か地域貢献活動をしたい。」というお話をいただいた。コロナの影響が激しく、街中にて地域活動と一緒にやるということは難しい状況だったので、スタンド清掃を提案したところ、地域のため、ファン・サポーターのため、そしてジェフのためにということで、ご快諾いただき、新シーズンが始まる前が



良いということで、開幕戦前日にスタンド清掃と一緒に行った。

当日は32人の君津営業部の方々と指定管理者、ジェフユナイテッドが協働で、スタジアム内の全座席拭きと通路の清掃を実施。座席拭きは単調で、かつかがみながらの作業なので心が折れそうになった方もいらっしゃいましたが、お互い声を掛けながら、約5時間かけて完了。また君津営業部の皆さんにご協力いただいたのでスタンド清掃の費用が削減されたということで、指定管理者からは、お礼として、君津営業部の参加者の皆さんに翌日のジェフ開幕戦のチケットとジェフグッズをプレゼントするという粋な図らないもあった。

しかし君津営業部の方々の活動に一番喜んでくれたのはジェフサポーター。この様子をTwitterにあげたところ、サポーターからは感謝のメッセージが続々。「寒い中、ありがとうございました。」「水が冷たくて大変だったでしょう。」といった感謝の声から、「試合後も奇麗な状態になるよう身の回りをチェックします。」「ゴミを残して帰らないようにします。」



といったマナー遵守の声まで。みんなで作り上げた開幕戦となつた。